

魔法のバンダナ～



お尻に敷いて、クッションに。バンダナは快適なのだ！



マントにすれば、スーパーヒーローに早変わり！！バンダナはすごいのだ！



ママのしっぽになって、おいかけてっ～！バンダナはママのおしりを可愛く見せるのだ！？



ママとキャッチボール！わんぱく山の心地よさ、楽しいみんなの笑い声、ママたちの笑顔あふれる中で、子どもたちが過ごせることはとっても幸せな時間です。ママたちありがとう！！

緑と風と光と土に囲まれて・・・

みんなのこころ きら きら きら



秘密のトンネルはどこまで続いているのかな…子どもたちの心は広がります…



大好きなパパとママに見守られて安心してチャレンジします！



ドングリ見つけたよ！小さな手に誇らしげに包まれる森の命



自然の中で、こころの扉を広げる ぼく・私！



こ～んなにたくさんの白爪草の原っぱ！踏みしめる足取りも軽やかにたくましく！



綿毛をふっ～♡風によって旅立つたんぽぽの小さな命が世界中につながるよ



友だちの声を聞きながら、先生と触れ合いながらちょっとずつ、つながり合っていきます。

子どもと森を歩いていると、とてもやさやかななどとも繊細な発見がいっぱいあります。仏様や神様の素敵な仕掛けは地面にいっぱいあります。ひとつひとつの命に心をとめて歩く子どもたちの一歩はゆっくりだったり、立ち止まったり、突然走り出したりそれは、この小さな体全部で、世界に関わって行こうとする尊い姿です。自然のなかには、子ども達をそうさせずにはいられない素敵な出会いがいっぱいなのです。

いっぱい遊んで いい子だね！！ ただいま～！！幼稚園に到着！！

よく歩いて、よく遊んで偉かったね～ 感心だね～ 先生からごほうびのシールをもらいました。

おや～。スタートの時より、子ども一人一人がぐーぐーっと先生のそばに近寄ってきました。だって、一緒に遊んだんだもんね！先生もとっても楽しかったよ！また、あそぼうね！！



あたたかい心・・・木にキツツキの作った穴をのぞいたり、

ちょうちやてんとう虫に出会ったり、小判や目玉焼きのお花を摘んだり、ドングリや石ころを拾ったり、子どもたちはどれほど大きな心で旅したことでしょう。小鳥のさえずりを聞きながら、おおかみが出ないかと息をひそめて森を歩く時の、ドキドキ感、明るい広場に出て、ほっとする安堵感、様々な情緒をはぐむ森歩きには、子どもの感動を一緒になって喜んでくれるお母さんやお父さんの温かい丁寧な眼差しと心持があるからこそ、子どもたちは安心して自分の世界を広げているのだと思います。

参加くださった、お母さん・お父さん・おじいちゃん・おばあちゃん本当にありがとうございました！

わんぱく山の森へたんけん！



みんなの手に大切に握りしめられているのは…「森のめだまやき」



「ハイ！男の子連手伝って！」「お金切るのよ！！」いつの世も男の子は女の子に強い…



みんな、森までよくきたね～森の仲間が次々にごあいさつ～



たくさん遊んだあとは、ヘビ太郎からおやつをもらって一休み…

幼稚園であそぼう新聞

森の人形劇号

2015年
6月25日
No.1
発行所
ほうとく
幼稚園

